



# 都議会野党第1党 19議席の力で都政を動かし 年金者の暮らしを守る

日本共産党

## 緊急要求

物価高から年金者を守る

- 1 後期高齢者保険料・国保料(税)を1人3万円引下げ
- 2 100万世帯への月1万円の家賃補助
- 3 シルバーパス無料化
- 4 1人1万円の生活支援給付金
- 5 水道料金10%値下げ



物価高騰対策、暮らし応援の  
財源は十分にあります

## 6055億円の財源提案

日本共産党は、都民の願いに応える物価高騰対策など緊急要求を実現するために、予算を組み替え、歳出削減で2167億8200万円、財政調整基金や国からの補助金などで3887億2700万円、合計6055億円の責任ある財源を提案しています。

都内全自治体で

## 提案&実現

| シルバーパス20,510円を  
12,000円に値下げ

| 補聴器購入助成の拡充  
18歳までの医療費無料化

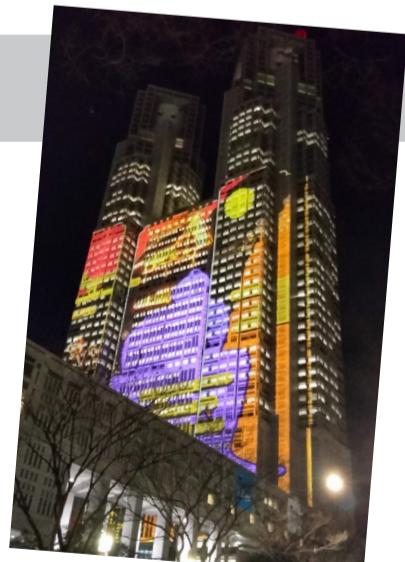
| 学校給食無償化

## 巨額のムダづかい 暴走ストップ

世界最大級の巨大噴水計画26億円。  
都庁舎にプロジェクションマッピング64億円。

## 大型開発やめ税金は暮らしに!

自民・都民ファ・公明は暮らしより、外環道や特定整備路線など大型道路に510億円も。調布市で陥没事故が起きた外環道は事業費が倍に。外環道を湾岸道路まで延長し、整備費は3兆円以上。こんなムダづかいはやめ、税金は都民の暮らしに使うべきです。



都議会自民党の「裏金」議員を  
公明、都民ファが擁護

共産党都議団は他の会派と共同で都議会の委員会に裏金議員全員の参考人招致を提案しましたが、自民・都民ファ・公明がそろって裏金議員をかばって反対し否決。日本共産党は引き続き金権腐敗政治の根絶へ全力をあげます。



# 物価高から 年金者の暮らし・いのち守る

## 日本共産党

「暮らしていけない」「コメが高くて買えない」—物価高騰が高齢者の暮らしを直撃しています。自公政権は、物価上昇を下回る年金削減を続け、第2次安倍政権以降の13年間に、実質で8.6%、総額30兆円もの年金を削減しました。

「高齢者は早く死ねというのか」—これまで、社会に貢献し、納税してきたのに、裏金で脱税する自公政権と補完勢力に、私たちの命を預けることはできません!

1

### 物価高に見合う年金引上げ 現役世代も、高齢者も“減らない年金”に

物価や賃金よりも年金を低くする「マクロ経済スライド」の仕組みをなくし、物価・賃金の上昇に追いつかせて引上げます。現在290兆円と給付の5年分ある年金積立金を計画的に活用します。高額所得者の保険料<sup>△</sup>優遇、の見直し、現役労働者の賃上げなど、増える年金へ改革します。

2

### 消費税の廃止めざし 5%に減税、インボイス廃止

物価高騰のいま、消費税を5%に減税すれば、平均的な収入の世帯で12万円の減税になります。

日本共産党は、①すべての消費に、一律5%減税。②インボイスの廃止、③恒久的な5%減税後は廃止。④財源は、大企業減税や富裕層優遇を見直し、応分の負担を求めます。

3

### 医療費窓口負担を下げ 高額療養費の制度改悪撤回！

自公政権は、75歳以上で窓口負担3割の「現役並み所得者」の範囲を拡大する方針です。3割負担への制度改悪はやめ、窓口負担は、低くするべきです。

がんや難病の患者にとって高額療養費の自己負担上限額が跳ね上がれば、受診抑制となり、命に直結します。高額療養費制度改悪は撤回すべきです。

#### ＼国民の暮らしを真ん中に／ 暮らしと経済をささえる 税制へ転換

暮らしを守る施策には持続可能な財源が必要です。

日本共産党は自公政権のもとで進められてきた大企業減税や富裕層優遇などの税制の歪みをただすとともに、税制が暮らしを支え、経済発展に結びつく循環をつくります。

#### ＼消費税減税等の財源はあります／

大企業優遇をあらため 法人税率 28%に戻す	9.5兆円
大株主の優遇やめ 最高税率の引上げなど	2.6兆円
富裕税の創設など	2.9兆円
軍拡予算・原発・ 政党助成金などの削減	8.0兆円

#### 各党の消費税減税についての財源論

日本共産党	廃止めざし緊急に5%へ減税。 大企業・富裕層優遇ただし恒久減税へ。
自民党	減税に否定的。
公明党	検討するも財源は不明確。
立憲民主党	1年間、食料品ゼロ%。財源は検討中。
日本維新の会	2年間、食料品ゼロ%。社会保障削減。
国民民主党	時限的に5%に減税。赤字国債を発行。
れいわ新選組	廃止。毎年30兆円の赤字国債を発行。

#比例は日本共産党

東京  
民報

日本共産党東京都委員会(<https://www.jcp-tokyo.net/>)の見解を紹介します。  
発行・東京民報社 東京都港区芝1-4-9平和会館5階 (1965年11月12日 第三種郵便物認可)  
2025年6月号外